

船舶事故調査報告書

平成29年11月15日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年4月7日 16時40分ごろ
発生場所	山口県徳山下松港 岩島灯台から真方位036° 170m付近 (概位 北緯33° 59.1′ 東経131° 45.2′)
事故の概要	プレジャーボート ^{アルバトロス ナイン} ALBATROSS IXは、南西進中、干出浜に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年7月31日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	プレジャーボート ALBATROSS IX、8.5トン
船舶番号、船舶所有者等	235-47560山口、個人所有
乗組員等に関する情報	船長、一級小型・特殊・特定
負傷者	なし
損傷	船尾部船底外板に破口等、プロペラ翼に欠損等、舵板に曲損等
気象・海象	気象：天気 霧、風 なし、視程 約20m 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期 山口県周南市には、4月7日06時50分に濃霧注意報が発表され、本事故当時も継続中であった。
事故の経過	<p>本船は、船長が1人で乗り組み、友人3人を乗せ、レーダーを0.5海里レンジに設定してGPSプロッターと共に作動させ、約20ノット（kn）の速力（対地速力、以下同じ。）で、手動操舵により徳山下松港を南西進していた。</p> <p>船長は、霧で視界が制限される状況となったので、約10knの速力に減じ、レーダーに映った映像を反航船と思い、左舷対左舷で100m以上の距離をとって通過しようと右舵を取って航行中、衝撃を感じ、岩島北岸沖の干出浜（岩）に乗り揚げたことを知った。</p> <p>本船の喫水は、船首約1.2m、船尾約1.5mであった。</p> <p>船長は、徳山下松港を航行した経験が幾度もあったが、視界が制限された状況での出航の経験はなかった。</p> <p>船長は、本事故当時、岩島灯台の灯光が視認できず、レーダーに映った岩島を反航船とってしまったが、GPSプロッターを見ていれば良かったと本事故後に思った。</p>
分析	<p>本船は、霧で視程が約20mとなった状況下の徳山下松港を南西進中、船長が、GPSプロッターを使用して船位の確認を行っていなかったことから、レーダーに映った岩島を反航船と見誤っていることに気付かず、右舵を取り、岩島北岸沖の干出浜に向かう態勢で航行し、</p>

	干出浜に乗り揚げたものと考えられる。
原因	<p>本事故は、本船が、霧で視程が約20mとなった状況下の徳山下松港を南西進中、船長が、GPSプロッターを使用して船位の確認を行っていなかったため、レーダーに映った岩島を反航船と見誤っていることに気付かず、右舵を取り、岩島北岸沖の干出浜に向かう態勢で航行し、干出浜に乗り揚げたものと考えられる。</p>
参考	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視界制限状態にある水域を航行する場合、目視とレーダーによる見張りだけでなく、状況に応じてGPSプロッターを活用して船位の確認を行うこと。